

茂原市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況（平成27年度）を公表

事業名	平成27年度		
	計画値	実績値	確保策等
幼稚園の利用者 (3から5歳)	872人	918人	おおむね計画値を超えて受け入れ。
保育所等の利用者 (0から5歳)	1,324人	1,339人	
地域子育て支援拠点事業 (※)	5,819人	4,904人	私立保育園2園で実施。
妊婦健康診査	7,952人	6,704人	妊婦検診費用の一部を助成。
乳児家庭全戸訪問事業	568人	594人	対象者に対して訪問を実施。
一時預かり事業 (幼稚園在園児以外)	859人	244人	私立保育園2園と認可外保育施設2カ所で実施。
延長保育事業	1,771人	2,146人	公立保育所10カ所、私立保育園2園、小規模保育事業1カ所で実施。
病児保育事業	964人	221人	1施設で実施。
放課後児童健全育成事業	878人	523人	市内18カ所の学童クラブで実施。



本計画では、教育・保育サービスの質を高めるため、子ども・子育て支援サービスの需給量の見込みや確保策等をきめ細かく計画するとともに、市民や教育・保育従事者、地域、行政が共同で取り組んでいく施策・事業の方向を明らかにするため、平成27年度から平成31年度までの5年間の計画期間として策定しました。

子育て支援課ウェブページ内では、左表以外の事業についても掲載しています。
 (※)「地域子育て支援拠点事業」とは、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供するもの。
 お問い合わせは、
 子育て支援課（2階）
 ☎(20)1573、FAX(20)1610へ。

小中学校の再編に 取り組めます



平成に入り顕在化してきた少子化は、本市でも例外ではありません。市内の小学生は、昭和58年度の8210人をピークに平成28年度は4100人、中学生は昭和62年度の4350人をピークに平成28年度は2263人に減少しています。
 こうした事態を踏まえ、教育委員会では、平成27年3月、小中学校の適正規模を次のとおり設定しました。
【適正規模】
 ・小学校
 12学級以上18学級以下
 ・中学校
 9学級以上18学級以下
 今後、教育委員会では、この適正規模を基準として、子

どもたちの教育環境を整えるため、学校再編計画の策定に着手し、市全体の学校再編に取り組めます。
 お問い合わせは、
 教育総務課（9階）
 ☎(20)1557、FAX(20)1607へ。
西陵中学校および富士見中学校の統合
 西陵中学校は、生徒数の減少により、平成23年度から各学年1学級の状態が続き、部活動等にも支障が出ています。
 この事態に対処するため、同年度から豊田小、二宮小、西小、緑ヶ丘小の卒業生は、富士見中学校、西陵中学校のいずれかを選択できる学校選択制を実施しています。
 この学校選択制は、試験的に行っているもので、本年度が最終年度となります。平成29年度の2つの中学校への進学状況から、選択制継続の可否判断を行うことになっていきます。
 選択制を継続しない場合は、西陵中学校は原則として平成29年4月に入学した生徒の卒